

## 分子内触媒移動を利用した鈴木・宮浦重縮合 (Suzuki-Miyaura Polycondensation Using Intramolecular Catalyst Transfer)

神奈川大学 工学部  
横澤 勉 教授

Professor Tsutomu YOKOZAWA  
Kaganaga University



2020年3月2日(月) 16:00–17:30

創成科学研究棟3階 セミナー室D

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

我々は AB 型モノマーの鈴木・宮浦重縮合に芳香環上を分子内移動できる Pd 触媒を用いると、連鎖重合が進行して、分子量が制御された、分子量分布の狭い  $\pi$  共役系高分子が生成することを報告してきた。同一触媒を芳香族ジボロン酸エステルと芳香族ジブロミドとの鈴木・宮浦重縮合に用いると、後者のモノマー過剰下でもボロン酸エステル末端の高分子量  $\pi$  共役系高分子が得られることを見出した。これは Pd 触媒が芳香族ジブロミド上を分子内移動していることから説明ができる。本講演ではこれらの概説と最近の進展について報告する。

略歴 昭和 56 年 3 月 東京工業大学工学部化学工学科卒業、昭和 58 年 3 月 東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻博士前期課程修了、昭和 60 年 3 月 東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻博士後期課程中途退学、昭和 60 年 4 月 東京工業大学資源化学研究所技官(教務職員)、昭和 63 年 2 月 東京工業大学資源化学研究所助手、平成 3 年 4 月 神奈川大学工学部専任講師、平成 5 年 4 月 神奈川大学工学部助教授、平成 9 年 8 月 神奈川大学在外研究員(イリノイ大学)(至 平成 10 年 8 月)、平成 11 年 4 月 神奈川大学工学部教授、平成 13 年 12 月 科学技術振興機構さきがけ研究 21 研究員(兼任)(至 平成 17 年 3 月)、平成 22 年 8 月 Wuppertal 大学(ドイツ)客員教授、平成 31 年 4 月 北海道大学客員教授(至 令和 2 年 3 月)  
第 1 回(1988 年度)有機合成化学協会三井東圧研究企画賞、第 1 回(1999 年度)神奈川大学学術褒賞、平成 18 年度高分子学会賞(科学)

共催 高分子学会北海道支部

問合せ先: 触媒科学研究所・中野 環([tamaki.nakano@cat.hokudai.ac.jp](mailto:tamaki.nakano@cat.hokudai.ac.jp)・011-706-9155)